

問題を解いて学習した内容がどれくらい分かったか確認しよう

中学校数学第1学年 領域D「資料の活用」 単元(1) 資料の分布

本単元のプリント集の問題は、以下の2つに分類されています。

- ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること
- ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること

【全国/出題年度】…「全国学力・学習状況調査の調査問題（中学校数学）」

【県/出題年度.月】…「佐賀県小・中学校学習状況調査の調査問題（中学校数学）」

年 組 号

氏名

[ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること]
に関する問題

年 組 号

氏名

次の各問いに答えなさい。

【県/H30.12月】

- (1) A中学校とB中学校の2年生に対して、ある日の家庭学習時間を調査しました。表は、調査結果を度数分布表に整理したものです

表 家庭学習時間

階級(分)	A中学校	B中学校
	度数(人)	度数(人)
0 ^{以上} ~ 30 ^{未満}	26	9
30 ~ 60	48	21
60 ~ 90	44	17
90 ~ 120	30	15
120 ~ 150	24	9
150 ~ 180	16	6
180 ~ 210	12	3
合計	200	80

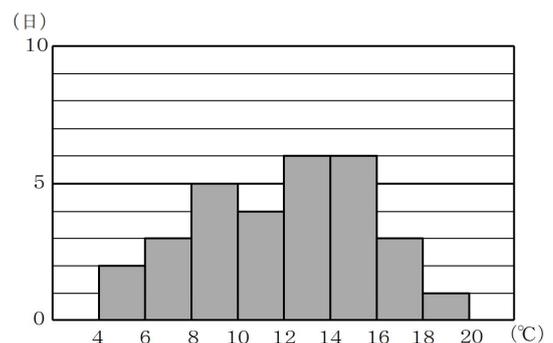
この表をもとに、全体の人数に対する学習時間が60分未満の人の割合は、A中学校とB中学校でどちらが大きいかを調べます。その方法について、正しいものを次のアからオの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 学習時間が60分未満の階級について、A中学校、B中学校の度数の合計を求め、その大小を比較する。
- イ 学習時間が60分未満の階級それぞれについて、A中学校、B中学校の相対度数を求め、その合計の大小を比較する。
- ウ 学習時間が30分以上60分未満の階級について、A中学校、B中学校の度数の合計を求め、その大小を比較する。
- エ 学習時間が30分以上60分未満の階級について、A中学校、B中学校の相対度数を求め、その大小を比較する。
- オ A中学校とB中学校では人数が違うので、比較することはできない。

【県/H30.12月】

- (2) 図は、ある地点の2017年4月1日から30日までについて、日ごとの最低気温の記録をヒストグラムに表したものです。このヒストグラムから、例えば、最低気温が16℃以上18℃未満の日が3日あったことがわかります。

図 最低気温の分布



12℃以上14℃未満の階級の相対度数を求めなさい。

【県/H30.12月】

- (3) ある学級の生徒35人が、100点満点の試験を受けました。得点の中央値は60点でした。このとき必ずいえることを、次のアからエの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 35人の得点の最高点と最低点の差は60点である。
イ 35人のうち、60点の得点の人数が最も大きい。
ウ 35人の得点の合計を35で割ると、60点である。
エ 35人の得点を高い順に並べたとき、高い方から18番目の人の得点が60点である。

【全国/H30】

- (4) 下の記録は、ある中学校の女子生徒9人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

37	41	43	45	47	50	50	50	51
----	----	----	----	----	----	----	----	----

(単位：回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

【全国/H27】

- (5) 次の記録は、ある中学校の生徒15人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。これを下の度数分布表に整理します。

記録

回数 (回)
37
38
39
42
44
49
50
52
53
53
57
58
58
58
62

度数分布表

階級(回)	度数(人)
以上 未満 37～41	<input type="text"/>
41～45	<input type="text"/>
45～49	<input type="text"/>
49～53	<input type="text"/>
53～57	<input type="text"/>
57～61	ア
61～65	<input type="text"/>
合計	15

次の①，②の各問いに答えなさい。

- ① 反復横とびの記録の中央値を求めなさい。
- ② 度数分布表の **ア** に入る値を求めなさい。

【全国/H30】

- (6) ある中学校の3年生の男子生徒35人の運動靴について、サイズごとに何人いるかを調べました。この35人の運動靴のサイズの最頻値は25.5cmでした。このとき必ずいえることを、次のアからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア 35人の運動靴のうち、最も大きい運動靴のサイズは25.5cmである。
- イ 35人の運動靴のうち、最も小さい運動靴のサイズは25.5cmである。
- ウ 35人の運動靴のサイズの合計を35でわると、25.5cmである。
- エ 35人の運動靴をサイズの小さい順に並べると、小さい方から18番目の運動靴のサイズが25.5cmである。
- オ 35人の中で最も多くの人をはいている運動靴のサイズは25.5cmである。

【全国/H28】

- (7) ある中学校の3年生120人について、最近1か月間に読んだ本の冊数を調べました。下の表は、その結果をまとめたものです。読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。

読んだ本の冊数(冊)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
人数(人)	9	16	29	23	15	13	14	0	1	120

【県/R1.12月】

- (8) ある中学校の2年生と3年生の生徒に対して、通学時間の調査をしました。度数分布表は、その結果をまとめたものです。あとの各問いに答えなさい。

度数分布表

階級(分)	2年生	3年生
	度数(人)	度数(人)
以上 0 ~ 10 未満	23	<input type="text"/>
10 ~ 20	32	41
20 ~ 30	16	21
30 ~ 40	7	7
40 ~ 50	1	0
50 ~ 60	1	1
合計	80	100

- ① に当てはまる度数を求めなさい。
- ② 2年生の通学時間の最頻値について正しく述べているものを、次のアからエの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。
- ア 2年生の通学時間の最頻値は、15分である。
- イ 2年生の通学時間の最頻値は、32人である。
- ウ 2年生の通学時間の最頻値は、10分以上20分未満である。
- エ 2年生の通学時間の最頻値は、1人である。
- ③ 2年生の20分以上30分未満の階級の相対度数を求めなさい。

【県/H29.12月】

- (9) ある中学校の生徒40人が反復横跳びを20秒間行ったときの記録を、**度数分布表**に整理したものです。あとの問いに答えなさい。

度数分布表

階級 (回)	度数 (人)
20 ^{以上} ~ 25 ^{未満}	1
25 ~ 30	1
30 ~ 35	6
35 ~ 40	9
40 ~ 45	12
45 ~ 50	6
50 ~ 55	3
55 ~ 60	1
60 ~ 65	1
合計	40

- ① **度数分布表**の45回以上50回未満の階級の**相対度数**を求めなさい。

- ② **度数分布表**から反復横跳びの記録の**最頻値**を求めなさい。

【全国/H29】

- (10) 次の**記録**は、ある中学校の生徒7人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

40	46	47	48	53	53	56
----	----	----	----	----	----	----

(単位：回)

- 反復横とびの**記録**の**範囲**を求めなさい。

【県/H29.12月】

- (11) 表は、ある中学校の生徒10人のハンドボール投げの結果です。ハンドボール投げの記録の範囲を求めなさい。

表

出席番号	記録 (m)
1	12
2	16
3	28
4	22
5	20
6	18
7	11
8	25
9	32
10	29

【県/H30.12月】

- (12) ある学級の生徒40人の12月2日の睡眠時間を調査しました。表は、調査結果を度数分布表に整理したものです。

表 睡眠時間

階級 (時間)	度数 (人)
4 ^{以上} ~ 5 ^{未満}	2
5 ~ 6	5
6 ~ 7	13
7 ~ 8	15
8 ~ 9	4
9 ~ 10	1
合計	40

この表から、睡眠時間の平均値を求める式として正しいものを、次のアからエの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

ア $\frac{4 \times 2 + 5 \times 5 + 6 \times 13 + 7 \times 15 + 8 \times 4 + 9 \times 1}{40}$

イ $\frac{5 \times 2 + 6 \times 5 + 7 \times 13 + 8 \times 15 + 9 \times 4 + 10 \times 1}{40}$

ウ $\frac{4.5 + 5.5 + 6.5 + 7.5 + 8.5 + 9.5}{40}$

エ $\frac{4.5 \times 2 + 5.5 \times 5 + 6.5 \times 13 + 7.5 \times 15 + 8.5 \times 4 + 9.5 \times 1}{40}$

[ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること]
に関する問題

年 組 号
氏名

1

次の各問いに答えなさい。

【全国/H29】

- (1) ある市の平成28年6月1日から30日までについて、日ごとの最高気温の記録を調べました。下の度数分布表は、その結果をまとめたものです。

日ごとの最高気温

階級(℃)	度数(日)
以上 未満	
22～24	3
24～26	8
26～28	7
28～30	6
30～32	5
32～34	1
合計	30

22℃以上24℃未満の階級の相対度数を求めなさい。

【全国/H28】

- (2) ある郵便物の重さをデジタルはかりで調べたところ、30.2gと表示されました。この数値は小数第2位を四捨五入して得られた値です。この郵便物の重さの真の値を a gとしたとき、 a の範囲を不等式で表したものと正しいものを、次のアからエまでのの中から1つ選びなさい。



- ア $30.15 < a < 30.25$
 イ $30.15 \leq a < 30.25$
 ウ $30.15 \leq a \leq 30.24$
 エ $30.15 < a \leq 30.24$

2

【全国/R1】

※2(1)は、「ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること」に関する問題です。また、(3)の問題には、「ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること」に関する学習内容も含まれています。

図書委員会では、生徒の読書活動の状況を調べ、図書だよりにまとめようと考えています。そこで、図書委員の航平さんと桃子さんは、全校生徒270人を対象に、最近1か月間に読んだ本の冊数と、1日あたりの読書時間が何分であることを回答するアンケートを実施しました。

アンケートのお願い	
・最近1か月間で読んだ本は何冊ですか。	(冊)
・1日あたりの読書時間は何分ですか。	(分)

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 二人は、実施したアンケートをもとに、最近1か月間に読んだ本の冊数について、下のような表にまとめました。下の表において、読んだ本の冊数の最頻値を求めなさい。

最近1か月間に読んだ本の冊数

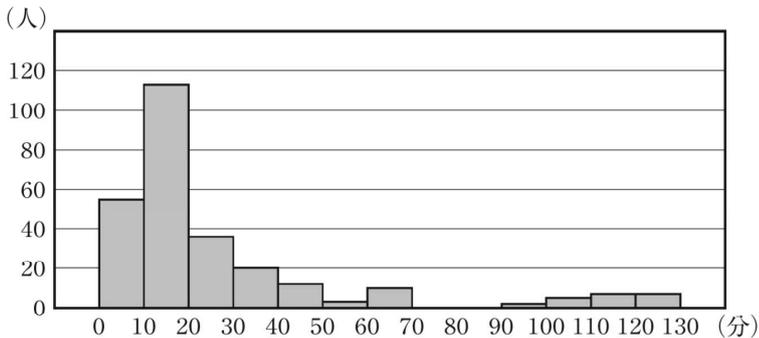
読んだ本の冊数(冊)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人数(人)	13	114	74	30	11	7	4	4	3	4	6	270

- (2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

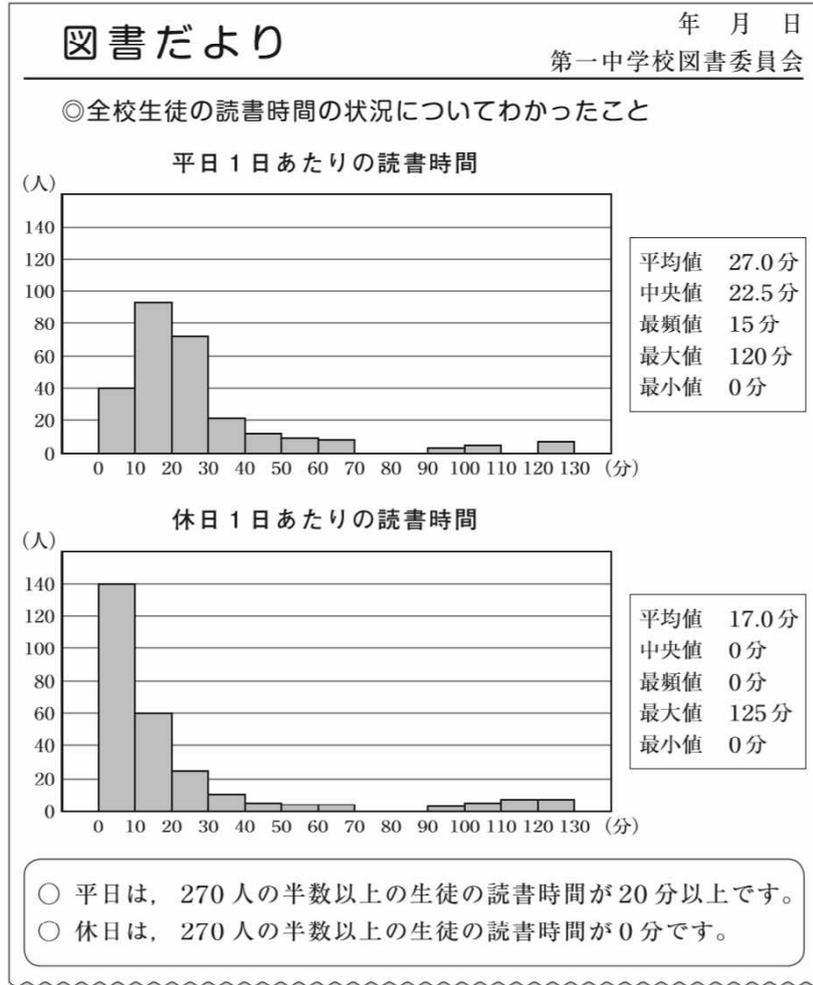
航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」

桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

- (3) 二人は、月曜日から金曜日までの平日と、土曜日と日曜日の休日では、1日あたりの読書時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、全校生徒を対象に、平日1日あたりの読書時間と休日1日あたりの読書時間を調べるアンケートを改めて実施し、270人の生徒が回答しました。そして、集計した結果をまとめ、次のような図書だよりの下書きを作成しています。

図書だよりの下書き

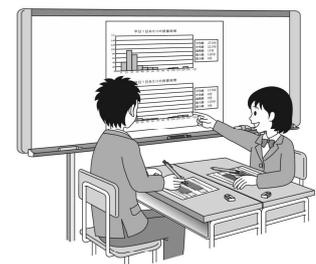


上の図書だよりの下書きには、わかったこととして次のことが書かれています。

- 平日は、270人の半数以上の生徒の読書時間が20分以上です。
- 休日は、270人の半数以上の生徒の読書時間が0分です。

このことは、図書だよりの下書きにある平日1日あたりの読書時間と休日1日あたりの読書時間の、ある値に着目することでわかります。その値が、下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

- ア 平均値
- イ 中央値
- ウ 最頻値
- エ 最大値
- オ 最小値



3

【全国/H29】

※3(1)は、「ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること」に関する問題です。また、(2)の問題には、「ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること」に関する学習内容も含まれています。

体育委員会は、全校生徒の体力向上のために、1週間で420分（1日あたり60分）運動することを目標にしようと考えています。そこで、体育委員会では、全校生徒の1週間の総運動時間を調べるアンケートを実施しました。体育委員の若菜さんは、全校生徒のうち女子の結果を、下の度数分布表にまとめました。

1週間の総運動時間の度数分布表（女子）

階級(分)	度数(人)
以上 未満 0～300	55
300～600	12
600～900	26
900～1200	29
1200～1500	15
1500～1800	6
1800～2100	2
合計	145

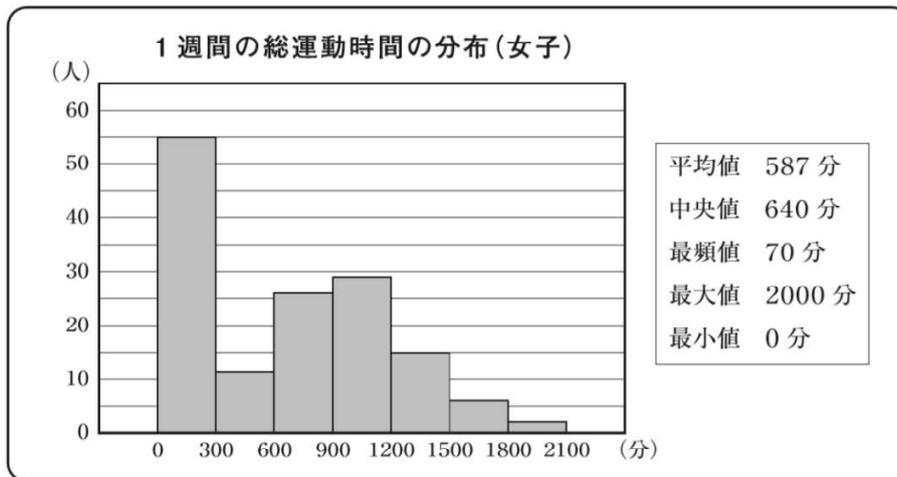
次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 1週間の総運動時間の度数分布表（女子）において、420分が含まれる階級の度数を書きなさい。



(2) 若菜さんは、女子の1週間の総運動時間について調べたことを、次のようにまとめました。

若菜さんが調べたこと



若菜さんの1週間の総運動時間は670分です。全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間より長い人が多いのか、短い人が多いのかは、670分をある値と比べるとわかります。その値が、下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

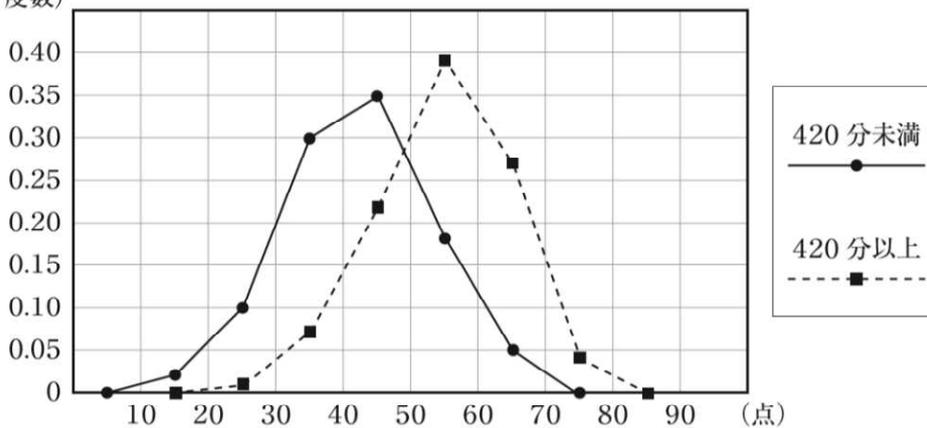
- ア 平均値
- イ 中央値
- ウ 最頻値
- エ 最大値
- オ 最小値

- (3) 若菜さんは、1週間の総運動時間が420分未満と420分以上の女子では、体力テストの合計点に違いがあるのではないかと考えました。そこで、420分未満と420分以上の女子で分けて、体力テストの合計点をまとめた度数分布表をもとに、相対度数を求め、相対度数の度数分布多角形（度数折れ線）に表しました。

体力テストの合計点の度数分布表

階級(点)	420分未満		420分以上	
	度数(人)	相対度数	度数(人)	相対度数
以上 未満				
10～20	1	0.02	0	0.00
20～30	6	0.10	1	0.01
30～40	18	0.30	6	0.07
40～50	21	0.35	19	0.22
50～60	11	0.18	33	0.39
60～70	3	0.05	23	0.27
70～80	0	0.00	3	0.04
合計	60	1.00	85	1.00

若菜さんが作った度数分布多角形
(相対度数)



若菜さんが作った度数分布多角形から、「1週間の総運動時間が420分以上の女子は、420分未満の女子より体力テストの合計点が高い傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、若菜さんが作った度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

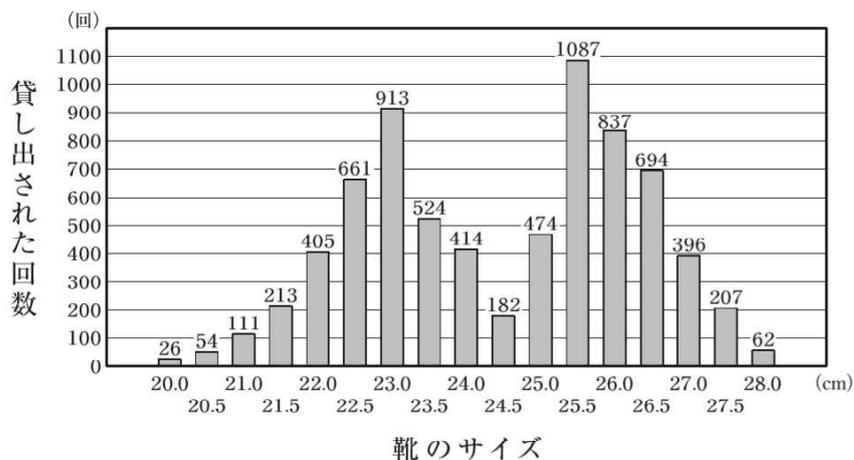
4

【全国/H28】

あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいもの買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月間に靴が貸し出された回数について調べました。

調べたこと

- 貸し出し用の靴の総数 200 足
- 貸し出された回数の合計 7260 回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5 cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



上のグラフから、例えば、23.5cmの靴は524回貸し出されたことがわかります。調べたことをもとに、そのサイズの靴を何足買うかを考えます。

次の(1)、(2)の各問いに応えなさい。

- (1) 「貸し出された靴のサイズの平均値である24.5cmの靴を最も多く買う」という考えは適切ではありません。その理由を、調べたことのグラフの特徴をもとに説明しなさい。

- (2) 25.5cmの靴を何足買うかを考えるために、25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求めます。その相対度数を求める式を書きなさい。ただし、実際に相対度数を求める必要はありません。



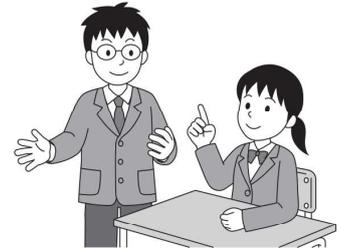
5 【全国/H27】

※5(3)は、第2学年・領域A「数と式」・単元(1)の「文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること」に関する問題です。

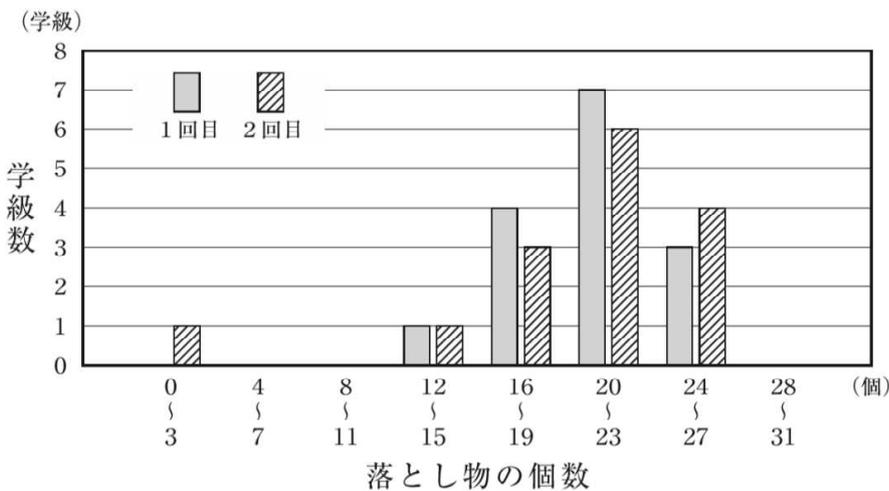
生活委員会では、落とし物を減らすために、全15学級で落とし物調査を行うことにしました。調査を同じ日数で2回行ったところで、拓也さんと優香さんは、その結果を表とグラフにまとめました。優香さんが作ったグラフでは、例えば、落とし物の個数が12個以上15個以下だった学級が、1回目、2回目とも1学級ずつあったことを表しています。

拓也さんが作った表

		(個)	
		1回目	2回目
種類	文房具	201	212
	ハンカチ・タオル	49	28
	その他	55	50
落とし物の合計		305	290
落とし物の合計の平均値 (1学級あたりの落とし物の個数)		20.3	19.3



優香さんが作ったグラフ



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 拓也さんが作った表の1回目の調査で、落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求め式を答えなさい。ただし、実際に割合を求める必要はありません。

(2) 二人は、調査結果について話し合っています。

拓也さん「落とし物の合計の平均値が20.3個から19.3個に減ったから、1回目より2回目の方が落とし物の状況はよくなったね。」
 優香さん「でも、平均値だけで判断していいのかな。グラフ全体を見ると、よくなったとは言い切れないよ。」

グラフを見ると、優香さんのように「1回目より2回目の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れない」と主張することもできます。そのように主張することができる理由を、優香さんが作ったグラフの1回目と2回目の調査結果を比較して説明しなさい。

(3) 二人は、落とし物を減らすための対策について話し合っています。

拓也さん「落とし物が少ない学級では、持ち物に記名するようにしているみたいだよ。」
 優香さん「次は、記名のある落とし物とない落とし物を分けて数えて、取り組みのよい学級を表彰したらどうかな。」
 拓也さん「記名のある落とし物を1個1点、ない落とし物を1個2点として集計し、表彰する学級を決めよう。」

下線部の考えをもとに表彰する学級を決めます。記名のある落とし物を a 個、記名のない落とし物を b 個としたとき、表彰する学級の決め方として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア $a + 2b$ の値が最も大きい学級にする。
- イ $a + 2b$ の値が最も小さい学級にする。
- ウ $2a + b$ の値が最も大きい学級にする。
- エ $2a + b$ の値が最も小さい学級にする。

6

【県/R1.12月】

※6(1)は、「ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること」に関する問題です。

つばささんとみさきさんは、同じボウリングチームに所属しています。つばささんとみさきさんのある1か月間のボウリングの得点の記録を、それぞれ、図1、図2にまとめました。あとの各問いに答えなさい。

図1 つばささんの得点の記録

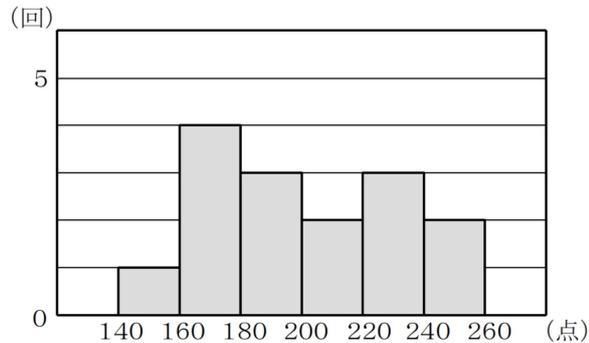
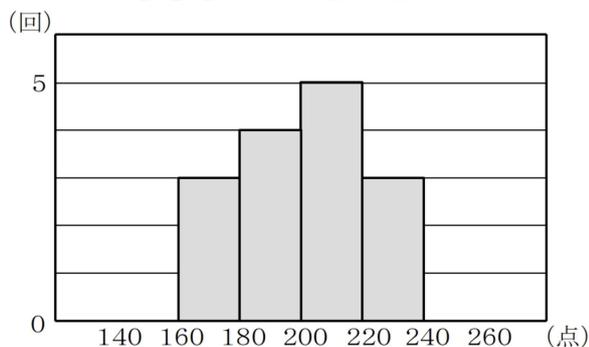


図2 みさきさんの得点の記録



(1) 図1、図2から、つばささんとみさきさんの1か月間のボウリングのゲームの回数と同じであることがわかります。そのゲームの回数を求めなさい。

(2) もし、つばささんとみさきさんがもう1ゲームずつ投げるとしたら、どちらがより高い得点を出せそうかを、2人のヒストグラムをもとに考えます。2人のヒストグラムを比較して、そこから分かる特徴をもとにすると、どちらがより高い得点を出すと思いますか。次のア、イからどちらか一方を選んで、その記号を書きなさい。また、その記号を選んだ理由を、2人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらを選んで説明してもかまいません。

ア つばささん

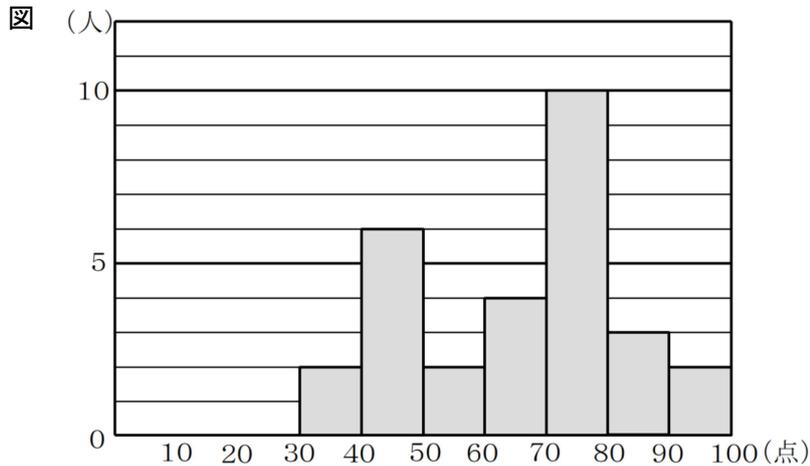
イ みさきさん

7

【県/H31. 4月】

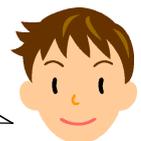
※7(1)は、「ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること」に関する問題です。

図は、太郎さんの学級の生徒29人が、100点満点の国語のテストを受けたときの結果をヒストグラムに表したものです。このヒストグラムから、例えば、テストの得点が30点以上40点未満の生徒が2人いたことが分かります。あとの各問いに答えなさい。



- (1) 国語のテストの得点が80点以上の生徒の人数を求めなさい。
- (2) 太郎さんの学級の生徒29人の国語のテストの平均点は、66点でした。図を見た太郎さんは、次のように言いました。

僕の得点は69点で、平均点の66点を上回っていたよ。だから、この学級の生徒29人では、僕より得点が低い人の方が多いよ。



太郎

しかし、太郎さんが言った「この学級の生徒29人では、僕より得点が低い人の方が多いよ」は、正しくありません。その理由を「中央値」という言葉を使って説明しなさい。

解答

 [ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること]に関する問題 (p.1~6)

- (1) イ
 (2) 0.2
 (3) エ
 (4) 47 (回)
 (5) ① 52 (回)
 ② 4
 (6) オ
 (7) 3
 (8) ① 30
 ② ア
 ③ 0.2
 (9) ① 0.15
 ② 42.5 (回)
 (10) 16 (回)
 (11) 21 (m)
 (12) エ

 [ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること]に関する問題 (p.7~18)

- 1** (1) 0.1
 (2) イ

- 2** (1) 1
 (2) 説明

(例) 1日あたりの読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

(例) 度数が最大となる階級は10分以上20分未満の階級であるので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

(例) 1日あたりの読書時間である26分が含まれる階級は、度数が最大となる階級ではないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではない。

- (3) イ

3

(1) 12 (人)

(2) イ

(3) 説明

(例) 2つの度数分布多角形が同じような形で、420分未満の度数分布多角形よりも420分以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、1週間の総運動時間が420分以上の女子は、420分未満の女子より体力テストの合計点が高い傾向にある。

(例) 度数分布多角形が、420分未満よりも420分以上の方が右側にあるから、1週間の総運動時間が420分以上の方が体力テストの合計点が高い傾向にある。

4

(1) 説明

(例) グラフの山の頂上にあたる靴のサイズは24.5cmではないので、24.5cmの靴を最も多く買うことは適切ではない。

(例) 24.5cmは最頻値ではないので、24.5cmの靴を最も多く買うことは適切ではない。

(例) 24.5cmのサイズは分布の谷にあたり、このサイズの靴を貸し出すことは少ないと考えられるので、適切ではない。

(例) グラフをみると、24.5cmは最頻値ではないので、適切ではない。

(例) 23.0cmや、25.5cmの方が度数が大きいから、24.5cmの靴を最も多く買うことは適切ではない。

(2) (式) $1087 \div 7260$

5

(1) (式) (例) $201 \div 305$

(2) 説明

(例) 2回目の調査結果では、落とし物が1学級だけ極端に少ないから平均値が下がっているだけで、他の学級の落とし物の状況がよくなっているとは限らないから、1回目より2回目の方がよくなっているとは言い切れない。

(例) 2回目の調査結果では、落とし物の個数が0個以上3個以下の学級が1学級あるけれど、それを除けばグラフの形は大きく変わっていないから、2回目の調査結果の方がよかったとは言い切れない。

(例) 1学級を除いても、全体のグラフの形はほとんど変わっていないから、1回目より2回目の方がよくなっているとは言い切れない。

(例) 最頻値は21.5個で変わらないから、2回目の方がよくなったとは言い切れない。

(例) 中央値が含まれる階級は20個以上23個以下の階級で変わらないから、2回目の方がよくなったとは言い切れない。

(例) 落とし物の個数が24個以上27個以下の学級は2回目の方が1学級多いから、2回目の調査結果の方がよかったとは言い切れない。

(3) イ

6

(1) 15 (回)

(2) 説明

(例) ア (を選択して)

- ・つばささんの方がみさきさんより220点以上の得点の回数が多いから。
- ・つばささんの方がみさきさんより最大値を含む階級の階級値が大きいから。

(例) イ (を選択して)

- ・みさきさんの方がつばささんより200点以上の得点の回数が多いから。
- ・みさきさんの方がつばささんより最小値が大きいから。

7

(1) 5 (人)

(2) 説明

(例) 中央値は70点以上80点未満の階級に入っており、太郎さんの国語のテストの得点69点は中央値よりも低い得点なので、太郎さんより国語のテストの得点が高い人の方が多いから。

(例) 29人いるので、中央値は15人目の人の国語のテストの得点である。15人目の人の国語のテストの得点は70点以上80点未満の階級に入っており、太郎さんの国語のテストの得点は60点以上70点未満の階級に入っているから、太郎さんより国語のテストの得点が高い人の方が少ないから。